



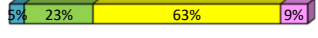


令和6年度 都城市立志和池中学校 学校関係者評価票

評価項目	評価指標	学校の現状と分析 〔グラフ左より 1:改善を要する 2:やや期待を下回る 3:ほぼ期待通り 4:期待以上〕	自己 評価	学校の改善策	外部評価コメント	外部 評価
知 (学習)	(1) (生徒)先生方は基本的な学習に対する取り組み方や態度などを指導してくれますか。 (保護者)学校は生徒に対して基本的な学習態度の指導ができていますか。 (教師)学校は生徒に対して基本的な学習訓練や学習態度育成等の指導ができていますか。	生徒1  保護者  教師 	3	○学校全体を見ると、落ち着いて授業を受けている様子が見られるが、クラスの中での学力差が大きい。学習が苦手な生徒は、静かに授業を受けてはいるものの、定着はしていない。話し合い活動や学び合い活動などの協働的な学習をさらに取り入れていく必要がある。 ○学習指導週間などを通して学校での学習態度について確認し、定着を図ることができた。しかし、主体的な学びへの授業改善や家庭学習の在り方など、さらに研修を行い、改善を図っていく必要がある。	○授業中はどの学年も落ち着いて取り組んでいて良い。しかし、一部、授業に参加できていない生徒がいること、学力差が大きいということであれば、学び合いでの時間を多く取り入れるとよい。 ○保護者評価が低いのは家庭学習の様子や成績などの結果によるものではないか。宅習の必要性を見直すとともに、ワークなどの宿題を計画的に行ってはどうか。また、保護者の家庭学習や進学に対する意識改革も必要ではないか。 ○全体的に研修などを行って教師のスキルを上げていると思われるが、まだタブレットの活用が小学校や他校に比べて少ないのではないかな。また、生徒が主体性を発揮して自分の意見を自信をもって発表できる場を多くすることで、自己肯定感を高めてほしい。 ○1年生の1学期から、マーク式のテストを多用し、データ化する。3年の2学期までのデータの蓄積で、各個人の苦手分野・得意分野を明確化する。苦手な分野について教師が個人的に教えることは難しいが、苦手分野専用の優しい問題集がそれぞれあれば、学力差の解消につながるのではないかな。	2.9
	(2) (生徒)先生方は、ICT機器を利用し、分かりやすい授業を展開してくれていますか。 (保護者)学校は、生徒に学習内容を定着させ学力の向上を図ることができていますか。 (教師)学校はICT機器を活用することで、生徒に興味・関心をもって学習に取り組ませることができていますか。	生徒2  保護者3  教師 	3	○ICT機器の使用については、ベテラン職員も若手職員からスキルを学び、積極的に活用しようとする姿が見られた。しかし、効果的な活用であったか検証することはできていない。今後も研修やOJTを活かしてスキルの向上を図るとともに効果的な活用について研究していく必要がある。 ○授業の中でICTの使用と合わせて、読解力と表現力を向上させる取組を行う必要がある。		
徳 (心の教育)	(3) (生徒)あなたは、命を大切にし、思いやりの心が育っていますか。 (保護者・教師)生徒には思いやりの心が育っていますか。	生徒4  保護者3  教師 	3	○毎週水曜に行っている生徒理解や月1回行っている対策委員会を通じて、違う学年の生徒の特性や対応の仕方の共通理解を図ることができた。また、教育支援センター(スプリング・青空ラボ)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーに繋ぐことができた。しかし、完全に解決には至っていないため、今後も学校と保護者、関係機関の連携を図っていく必要がある。 ○望ましい人間関係について、1学年生徒の肯定的な評価が他学年より低く、12%の生徒が期待を下回ると回答していた。 ○教師の”期待以上”が0%であることから、思いやりや互いを認めあう姿の醸成が必要だと教師は考えている。また、軽はずみな言動からのトラブルがあったことを指導してきたことから評価が低くなっていると考え。	○言葉の重さを分かっていないのは、ゲームやYouTubeなどの影響が大きいのではないかな。また、自分や自分の周りの仲の良い人だけへの思いやりになっているように感じる。クラス、部活動、学校全体と集団生活の中ですべての人に対する思いやり・認め合いが育ってほしい。 ○1年生の人間関係の肯定的な評価が低いのは、仲間内の絆を感じられるようなイベントが少なくなってきたことも要因の一つではないかな。望ましい環境を作っていくのは長い期間が必要だと思う。 ○学校だけではなく、家庭でも人間関係や思いやりについて、きちんと話し合うほうが良い。 ○教師が心の教育について低い評価をしているのであれば、今後も引き続き改善指導を行ってほしい。また、いじめなどの問題を未然に防ぐ対策を継続して推進して欲しい。 ○スクールカウンセラーとの面談は対応が早くてよかった。SSWの対応が今年度はあまりなかった。	2.7
	(4) (生徒)あなたは、互いに認め合う言葉かけをしながら、望ましい人間関係が築けていますか。 (保護者)生徒は、一人一人が、充実した学校生活を送っていますか。 (教師)生徒一人一人がお互いを認め合い充実した学校生活を送る態度が育成されていますか	生徒  保護者  教師 	3	○生徒の自己肯定感を高めるために、一つ一つの行動を否定するのではなく、肯定的に受け止め、適切な対応ができるよう、スクールワイドPBSの研修を行った。今後も研修を行い、実践につなげていく必要がある。 ○ソーシャルスキルトレーニング(対人関係スキル)やエンカウンター(認め合い)を取り入れた活動を行うことができた。しかし、心ない言動が完全になくなったわけではないため、今後も意識を高めるような活動を取り入れたり、言語環境を整えたりしていく必要がある。		
体 (体力の向上)	(5) (生徒)学校生活を通じて、健康で安全な生活を送る態度が身に付いていますか。 (保護者・教師)生徒は学校生活を通じて、健康で安全な生活を送る態度が身に付いていますか。	生徒  保護者  教師 	3	○感染症予防の生活の習慣化を目指した健康指導を継続して行っていく。 ○下校の様子について地域から改善の要望が多かったため、生徒へ注意喚起を図った上で、リフレッシュデイなど一斉下校する日を中心に職員で下校指導を徹底して行った。今後も継続して行っていく。 ○学校設備の修繕は適宜行うことができた。今後も安全点検及び安全な生活の指導を徹底させたい。	○体力テストがA判定が多かったり、健康で安全な生活を送ることについて高評価であったりすることは良いことである。 ○部活動の大会での活躍など頑張っていると思う。 ○昼休みもサッカーをしたり、バレーをしたりする生徒がいて元気だと思ってみている。 ○下校時のマナーが悪い。地区公民館は送迎の際にとっても便利なので、マナーを守って地域の方に迷惑をかけないようにしてほしい。 ○給食に関しては、どの学校でもだろろうが残食が多いことが気になる。地域の特産物を使った料理をしたり食品ロス問題などSDGsについて学習したりするなどして意識を高める必要がある。また、偏食や好き嫌いがあることでのリスクの教育と、工夫次第では食べられるという体験などを通して心身の充実を図ってほしい。 ○AEDの講習を、日常での非常事態に活かしてほしい。	3.3
	(6) (生徒)学校では積極的に体を動かし、体力の向上に努めていますか。 (保護者)生徒は学校生活を通して、体力(運動面・健康面)の向上がみられましたか。 (教師)生徒は食に感謝する心をもち、自身の健康に対して意識を高く持つことができていますか	生徒  保護者1  教師 	3	○ほとんどの生徒が真剣な態度で体育の授業に臨み、体力の向上を図っている。駅伝・持久走大会を廃止したが、選択した1500m走と10分間走の目標をもたせて記録会という形で行うことができた。 ○7月からの猛暑で室内で過ごすことも余儀なくされた。9月の体育大会練習においても体調を崩す生徒がいたため、次年度は5月に体育大会を実施する。 ○弁当の日を今後も継続して行い、食への知識を深めさせ、自身の健康と食の結びつきについて考えさせたい。		
保護者・地域との連携	(7) (生徒)あなたは家庭で保護者に学校の提出物を渡したり、学校のことを話題にしていますか。 (保護者・教師)学校は保護者や地域社会への情報発信を積極的に推進していますか。	生徒  保護者  教師 	3	○ほとんどの学級で学級通信を毎週出しているが、保護者に渡していない生徒が多いため、全学級でsigfyを使用して配信するようにした。また、行事の参加の出欠等をsigfyのアンケート機能を利用したため、教師の回収や集計の手間が改善された。今後も積極的に利用していく。 ○学校便りやHPでこまめに生徒の情報を発信していくことができた。今後も継続して発信していく。	○sigfyの利用はとても助かっている。保護者との情報共有など効果的に運用できているので、さらに活用を呼びかけても良いのではないかな。 ○HPも楽しみに見ている。修学旅行の配信は生徒の様子などが見れるとよい。 ○地域とのかかわりや地域へのボランティア活動はよい経験にもなり、生徒の成長にもつながる。積極的に実施されており、良かった。 ○食についての地域とのつながりがもてると良いのではないかな。 ○学校と保護者、保護者同士の交流の場が減っている。	3.5
	(8) (生徒)あなたは地域でもあいさつを心がけたり、地域の活動に積極的に参加したりしていますか。 (保護者・教師)学校は学校行事への参加呼びかけと地域住民の人材を積極的に活用していますか。	生徒2  保護者1  教師 	3	○茶摘みやしめ縄づくり、地域の調査活動、地域での奉仕活動など、地域の協力もあり昨年度以上に地域と結びついた活動を行うことができた。生徒会が中心となって寺子屋サロンのボランティア活動もできた。今後も、地域と学校で協力し合いながら活動を深めていく。 ○オープンスクールなど地区の回覧板を使って周知を図った。また、保護者への行事の連絡をsigfyで行い、期日が近づいてから駐車場などの確認を再度連絡するようにしたため、より周知に繋がったと考える。今後も継続して行っていく。		
学校生活	(9) (生徒)先生方は、あなたのことを理解し、きめ細やかな指導をしてくれますか。 (保護者・教師)学校は生徒のことを理解し、きめ細やかな指導ができていますか。	生徒  保護者  教師 	3	○生徒への理解と対応の向上については、教育相談で話を聞くだけでなく、学担の生活ノートでのやり取りや教科担当の授業をはじめ職員全員で生徒の様子を見守り、変化や困り感に気付けるようにしていく。 ○保護者からの連絡を生徒理解のための貴重な情報として、しっかりと話を聞く。また、学校での対応なども随時保護者に伝えるようにしているが、今後も継続していく。 ○教師一人で抱え込むことがないよう、学年会や毎週水曜に行っている生徒理解で情報を共有し、対応をしていく。	○あいさつは、人によって、場所によってばらつきがある。学校生活の中ではできていても、放課後や休日の学校外ではできていない様子が見られる。部によってはとても気持ちの良いあいさつをしてくれる。 ○自転車での登下校は、冬は暗くなるので自動車との接触事故などの注意喚起をしてほしい。交通ルールはまだ改善したほうが良い。 ○身だしなみの乱れは心の乱れとよく言われる。多様性を認める時代であるため、指導はとても難しい面もあると思うが、今後も指導をお願いしたい。 ○生活習慣は、親の甘さが出るのかと感じることがある。 ○メディアコントロールが必要である。 ○何でも相談できる相手がいることが望ましい。	3.3
	(10) (生徒)あなたは、挨拶や服装・髪型などの基本的生活習慣を身に付けていますか。 (保護者・教師)生徒は、挨拶や服装・髪型などの基本的生活習慣を身に付けていますか。	生徒  保護者  教師 	3	○生徒の身だしなみチェックを自己申告制としたため、大きな乱れはないものの、昨年度より守れていない様子がみられる。生徒の意識が高まるよう、生徒会と連携し、啓発や校則の改定等も行っていく。 ○基本的生活習慣の乱れから学校に遅れたり登校できなかったりする生徒が増加している。保護者としてしっかり向き合って現状を伝え、専門機関と連携が必要な生徒については、連携して指導を行う必要がある。		